

和歌山県立医科大学薬学部 シラバス

科目名	薬学英語 I
科目名 (英文)	Pharmaceutical Science English I
学部・学科	薬学部・薬学科
配当年次・学期	2年次・前期
クラス	全クラス
履修区分	必修
授業担当者	朱 姝
科目ナンバリング	P3011EA
関連科目	英語 I A、英語 I B、英語 II A、英語 II B、薬学英語 II、薬学英語 III

本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー

薬学を中心とした自然科学分野で必要とされる英語の基礎力を身に付けるために、「読む」「書く」「聴く」「話す」に関する薬学・科学英語の基本的知識と技能を習得する。薬学領域で使われる英語の専門用語、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現、科学実験、操作の説明などに関する英語表現を発音も含めて習得し、実践的薬学英語力を養う基盤を築く。

ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力

- ・ 総合的、専門的な薬学の知識とともに、薬剤師としての実践能力や研究を行うに足る技能を有しているもの
- ・ 国際的視野を有し、地域での医療に貢献できるもの

薬学英語 I の講義は、国際化時代に対応できる薬学人材の育成の観点から、薬学的基礎英語力を身に付けるため、薬学関連分野の専門用語や専門的事項の英語表現などを含む薬学・科学英語の基本的知識と技能を習得する。それが礎になり、英語で薬学に関する情報を理解し発信できる実践的英語力の養成につながるものである。

アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価

薬学領域で使われる英語の専門用語、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象、実験操作の説明などに関する英語表現などの基礎知識と技能の習得、習得した基礎知識と技能の総合的応用力について評価する。

授業計画

回	学習内容・課題	学習方法 (場所)	評価方法
1	オリエンテーション 授業の概要、進め方 薬学英语の特徴及び学習方法について	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
2	Unit 1 Collaboration will shape the future of health care 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
3	Unit 2 Effective medication counseling: Understanding of patients' needs and feelings 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
4	薬学に関する専門用語を含む科学英語の基礎 (1)	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
5	Unit 3 Enzyme inhibitors 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
6	Unit 4 Introduction to how nuclear medicine works 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
7	Unit 5 How DNA works 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
8	薬学に関する専門用語を含む科学英語の基礎 (2)	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
9	Unit 6 NIH-Sponsored research yields promising malaria drug candidate 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
10	Unit 7 Understanding medications and what they do 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
11	Unit 8 Enzymes and chemical reactions 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
12	薬学に関する専門用語を含む科学英語の基礎 (3)	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
13	Unit 9 Pain: Hope through research 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
14	Unit 10 The cell	講義	小テスト

	内容を理解し、関連知識と技能を習得する	(講義室)	期末試験
15	まとめ 講義内容の確認・復習を行い、関連知識について理解度、習熟度を深める	講義 (講義室)	小テスト 期末試験

教科書

- ・日本薬学英语研究会 『薬学英语 1 (改訂版)』 (東京：成美堂 2012 年)
- ・講義中に配るプリント

参考書

- ・瀬谷幸男、西村月満他『薬学英语基本用語用例集』(東京：南雲堂 2017 年)

評価時期

講義中に実施する小テスト (毎回)

期末試験 (15 回後)

評価方法

講義中に実施する小テスト (40%)

期末試験 (60%)

評価基準

授業への出席が 2/3 未満の場合、単位を与えない。

総評価の 60%以上で合格。

学生へのメッセージ

薬学分野における実用的英語力の習得は、学習と練習を繰り返す継続的なプロセスである。繰り返しがなければ身につかないので、積極的に講義に参加すること、積極的に練習を繰り返して行うことを心掛けましょう。

担当者の研究室等

教員室 402

オフィスアワー：毎週金曜日 12:40～13:40、17:30～18:30

備考、事前・事後学習課題

履修にあたり、講義の前後に 1～3 時間程度の予習・復習を必ず行うこと。教科書や講義中に配られるプリントの復習をしっかりと行うこと。また、週 3 回以上 (できれば毎日)、10

分～30 分程度の専門用語の発音練習と薬学関連英文の聞き取り・音読練習を行うことが望ましい。

和歌山県立医科大学薬学部 シラバス

科目名	薬学英語Ⅱ
科目名（英文）	Pharmaceutical Science English II
学部・学科	薬学部・薬学科
配当年次・学期	2年次・後期
クラス	全クラス
履修区分	必修
授業担当者	朱 姝
科目ナンバリング	P3012EA
関連科目	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、薬学英語Ⅰ、薬学英語Ⅲ

本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー

薬学を中心とした自然科学分野で必要とされる英語の基礎力を身に付けるために、「読む」「書く」「聴く」「話す」に関する薬学・科学英語の基本的知識と技能を習得する。薬学領域で使われる英語の専門用語、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現、科学実験、操作の説明などに関する英語表現を発音も含めて習得し、実践的薬学英語力を養う基盤を築く。

ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力

- ・ 総合的、専門的な薬学の知識とともに、薬剤師としての実践能力や研究を行うに足る技能を有しているもの
- ・ 国際的視野を有し、地域での医療に貢献できるもの

薬学英語Ⅱの講義は、国際化時代に対応できる薬学人材の育成の観点から、薬学的基礎英語力を身に付けるため、薬学関連分野の専門用語や専門的事項の英語表現などを含む薬学・科学英語の基本的知識と技能を習得する。それが礎になり、英語で薬学に関する情報を理解し発信できる実践的英語力の養成につながるものである。

アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価

薬学領域で使われる英語の専門用語、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象、実験操作の説明などに関する英語表現などの基礎知識と技能の習得、習得した基礎知識と技能の総合的応用力について評価する。

授業計画

回	学習内容・課題	学習方法 (場所)	評価方法
1	Unit 11 The influenza (Flu) virus 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
2	Unit 12 The immune system 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
3	薬学に関する専門用語を含む科学英語の基礎 (4)	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
4	Unit 13 Genetically modified foods 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
5	Unit 14 Your health and your environment 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
6	Unit 15 Types of drug actions 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
7	薬学に関する専門用語を含む科学英語の基礎 (5)	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
8	Unit 16 What is diabetes? 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
9	Unit 17 Personalized medicine 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
10	Unit 18 From fish to pharmacies: A story of drug development 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
11	科学実験、操作の説明などに関する英語表現 (1)	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
12	科学実験、操作の説明などに関する英語表現 (2)	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
13	Unit 19 ES cells vs. iPS cell 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
14	Unit 20 Amendment to Japan's pharmaceutical affairs law 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
15	まとめ 講義内容の確認・復習を行い、関連知識につ いて理解度、習熟度を深める	講義 (講義室)	小テスト 期末試験

教科書

- ・日本薬学英语研究会 『薬学英语 1 (改訂版)』 (東京：成美堂 2012 年)
- ・授業中に配るプリント

参考書

- ・瀬谷幸男、西村月満他『薬学英语基本用語用例集』(東京：南雲堂 2017 年)

評価時期

講義中に実施する小テスト (毎回)

期末試験 (15 回後)

評価方法

講義中に実施する小テスト (40%)

期末試験 (60%)

評価基準

授業への出席が 2/3 未満の場合、単位を与えない。

総評価の 60%以上で合格。

学生へのメッセージ

薬学分野における実用的英語力の習得は、学習と練習を繰り返す継続的なプロセスである。繰り返しがなければ身につかないので、積極的に講義に参加すること、積極的に練習を繰り返して行うことを心掛けましょう。

担当者の研究室等

教員室 402

オフィスアワー：毎週金曜日 12:40～13:40、17:30～18:30

備考、事前・事後学習課題

履修にあたり、講義の前後に 1～3 時間程度の予習・復習を必ず行うこと。教科書や講義中に配られるプリントの復習をしっかりと行うこと。また、週 3 回以上 (できれば毎日)、10 分～30 分程度の専門用語の発音練習と薬学関連英文の聞き取り・音読練習を行うことが望ましい。

和歌山県立医科大学薬学部 シラバス

科目名	薬学英語Ⅲ
科目名（英文）	Pharmaceutical Science English III
学部・学科	薬学部・薬学科
配当年次・学期	3年次・前期
クラス	全クラス
履修区分	必修
授業担当者	朱 姝
科目ナンバリング	P3013EA
関連科目	英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、薬学英語Ⅰ、薬学英語Ⅱ

本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー

薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、「読む」「書く」「聴く」「話す」に関する薬学・科学英語の基本的知識と技能を習得する。薬用英語Ⅰ・Ⅱの講義で習得した薬学英語の基礎知識をベースにして薬学の専門科目の内容を英語で学習し、これまで専門科目の講義で学んできた内容を再確認しながら専門的事項に関する英語表現を習得する。医薬学分野の学術論文の読み方について学習し、英文論文を正確に読解できること、簡単な専門的文章を英語で書く技能を習得する。

ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力

- ・ 総合的、専門的な薬学の知識とともに、薬剤師としての実践能力や研究を行うに足る技能を有しているもの
- ・ 国際的視野を有し、地域での医療に貢献できるもの

薬学英語Ⅲの講義は、国際化時代に対応できる薬学人材の育成の観点から、薬学の専門科目の内容を英語で学習し、医薬学分野の学術論文についても触れることにより、薬学関連分野の専門的事項に関する英語表現を習得し、英文論文を正確に読解できること、簡単な専門的文章を英語で書くことができる実用的英語力を身につける。また、英語を通して科学的思考法を学習する。

アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価

薬学領域で使われる英語の専門用語、各専門科目における専門的事項に関する英語表現などの基礎知識と技能の習得、習得した基礎知識と技能の総合的応用力について評価する。

授業計画

回	学習内容・課題	学習方法 (場所)	評価方法
1	オリエンテーション 授業の概要、進め方	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
2	Unit 1 Basic organic chemistry 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
3	Unit 2 Free radicals & antioxidants 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
4	Unit 3 Preservatives & additives 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
5	Unit 4 The digestive tract system: Anatomy and physiology 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
6	Unit 5 The circulatory system: Anatomy, physiology and diseases 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
7	Unit 6 Drug administration: Route, absorption and drug delivery system 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
8	Unit 11 Human immunodeficiency virus (HIV) 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
9	Unit 12 Metabolic syndrome: Prevention and treatment 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
10	Unit 13 Alzheimer's disease: Prevention and treatment 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
11	Unit 14 Herbal medicine 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
12	Unit 15 Kampo 内容を理解し、関連知識と技能を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験
13	学術論文の読み方に関する講義 (1) 学術論文の構成を説明できる 各構成部分における頻出の表現等を習得する	講義 (講義室)	小テスト 期末試験

14	<p>学術論文の読み方に関する講義 (2)</p> <p>学術論文の構成を説明できる</p> <p>各構成部分における頻出の表現等を習得する</p>	<p>講義</p> <p>(講義室)</p>	<p>小テスト</p> <p>期末試験</p>
15	<p>まとめ</p> <p>講義内容の確認・復習を行い、関連知識について理解度、習熟度を深める</p>	<p>講義</p> <p>(講義室)</p>	<p>小テスト</p> <p>期末試験</p>

教科書

- ・ Anthony FW Foong 等 『実用薬学英语』（京都：イメックス 2012 年）
- ・ 講義中に配るプリント

参考書

- ・ 瀬谷幸男、西村月満他 『薬学英语基本用語用例集』（東京：南雲堂 2017 年）

評価時期

講義中に実施する小テスト（毎回）
 期末試験（15 回後）

評価方法

講義中に実施する小テスト（40%）
 期末試験（60%）

評価基準

授業への出席が 2/3 未満の場合、単位を与えない。
 総評価の 60%以上で合格。

学生へのメッセージ

薬学分野における実用的英語力の習得は、学習と練習を繰り返す継続的なプロセスである。繰り返しがなければ身につかないので、積極的に講義に参加すること、積極的に練習を繰り返して行うことを心掛けましょう。

担当者の研究室等

教員室 402

オフィスアワー：毎週金曜日 12:40～13:40、17:30～18:30

備考、事前・事後学習課題

履修にあたり、講義の前後に1～3時間程度の予習・復習を必ず行うこと。教科書や講義中に配られるプリントの復習をしっかりと行うこと。また、週3回以上（できれば毎日）、10分～30分程度の専門用語の発音練習と薬学関連英文の聞き取り・音読練習を行うことが望ましい。